

再生可能エネルギーのさらなる導入を目指して

1 取組みの概要

「山形県エネルギー戦略」に基づき、太陽光、風力、中小水力、バイオマス、温泉熱、地中熱など、安全で環境にやさしいエネルギー源である再生可能エネルギーの導入拡大に取り組んでいます。

県自ら太陽光や中小水力などの発電事業に先導的に取り組むとともに、民間の事業展開を促すため、県有地を活用した発電事業の公募、低利融資制度や補助制度による電源開発のための初期投資への支援などを行っています。また、本県の豊かな森林資源を森の恵み、森のエネルギーとして活かす「森林（モリ）ノミクス」の推進に向け、木質バイオマス資源を活用した発電事業の促進や、家庭・事業所・公共施設における木質ペレットストーブやボイラーの利用拡大に取り組んでいるほか、エネルギーの地産地消に向けて地域単位での多様な再生可能エネルギーの活用を促進しています。

県内でも太陽光発電パネルやペレットストーブなどを設置する住宅が増えてきており、再生可能エネルギーは私たちに身近なものになってきています。今後とも、県民生活や産業活動を支えるエネルギーを地域の中から生み出し、利用する取組みを通して、県内産業の振興や地域の活性化につなげていきます。

2 担当職員へのインタビュー

エネルギー政策推進課
エリア供給担当

主査 奥山 竜之

【採用職種：行政】



Q 現在の担当業務を教えてください

再生可能エネルギーの利用拡大に向けて、家庭や事業所における太陽光発電設備や、ペレット・薪ストーブ、地中熱利用融雪装置などの導入に対する補助事業を担当しています。また、県民の皆さんが資金や役務を提供して再エネ発電所などを立ち上げ、配当や地元産品等を受け取るといった県民参加型再エネ事業への支援業務も担当しています。

Q 皆さんへのメッセージをお願いします！

県職員の仕事は多種多様で覚えることも多く、忙しい時期もありますが、そうした経験は、仕事に限らず様々な場面で役立ちます。より良い山形をつくるため、一緒に取り組んでみませんか。

Q 仕事のやりがい・魅力は何ですか？

最近では、社会全体で再生可能エネルギーへの意識が高まり、家庭でも太陽光発電設備やペレットストーブなどの導入が進んでいます。そうした中、自分が担当する事業の利用を通して、再生可能エネルギー設備の導入が進み、県内での利用が広がっていることにやりがいを感じています。

県の仕事は分野を問わず、市町村や様々な民間団体と力を合わせて進めます。多くの人々との関わりを通して、共に学びながら協力して仕事ができる点は魅力だと思います。

